

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年6月4日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694400013
法人名	株式会社 ハヤシ商事
事業所名	ガーデンハウス忠元
所在地	鹿児島県伊佐市大口里1564番地5 (電話) 0995-29-5007
自己評価作成日	平成26年3月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/46/index.php
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成26年3月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

事業所は伊佐盆地の山並みと市内の街並みが眺望できる自然環境に恵まれた高台にあり、桜名所の忠元公園がすぐ近くににあります。建物の周囲は一面に芝が広がる庭園で、天気の良い日は外気浴や散歩を行っています。健康保持と一日のコミュニケーションの始まりとして、毎朝健康体操を実施しています。建物には暑さ寒さ対策が施され、天井が高くゆったりとした構造になっています。屋根にはソーラー発電を設置してオール電化を導入し、各居室にはナースコールがあり安心して生活していただけるようになっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【理念】

- ・理念には「人格の尊重」や「家庭的な環境」「地域との交流」といった言葉を盛り込み、信頼関係の構築や地域の中での役割について考え、意識しながら共に生活していく姿勢を打ち出している。
- ・また、理念とは別に事業所の方針も打ち出し、「安心」「安全」の徹底についてより具現化させている。

【身体拘束をしないケア】

- ・身体拘束廃止委員会を設け、定期的に身体拘束をしないケアについての勉強会を実施しており、言葉による拘束や言葉遣いにも気を配り接している。
- ・施錠をしない代わりに職員間の見守りに力を入れており、記録物もさり気なく見守りをしながら行なうなど徹底させている。

【介護計画の作成】

- ・介護計画の作成にあたり、事前に本人や家族のほか、主治医にも意見を尋ねるなど、関係者の思いが込められた介護計画となっている。
- ・また、思いをうまく伝えられない方には、日頃の言動や信頼関係により把握した思いや意向を介護計画に記述するなど、寄り添うケアに努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を常に意識できるように、朝の申し送り時、玄関掲示板に掲げられている理念を唱和している。	毎日理念を唱和することでケアに理念を反映でき、悩んだ時にはネームプレート裏に記載の理念を確認することで理念に立ち戻ることができている。理念とともに事業所の方針も掲げており、これらを基に安心と安全な生活環境を整えることを目標にして、日々のケアでの実践に向けて取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会へ加入し、総会や清掃活動等の行事に参加して地域の方々との交流を図っている。	自治会の清掃活動や忘年会に参加しており、事業所の案内は回覧板を利用させてもらっている。また、保育園児による七夕会や花の日のお祝い、忠元公園さくら祭りに出掛けるなど、地域住民との交流の機会が多い。事業所主催の夏祭りには、地域住民やボランティアなど、総勢200名ほどの参加があり盛大に行われた。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	事業所主催の夏祭りに地域の方々に参加していただいたり、事業所発行の便りを配布している。又、運営推進会議での現状報告等で理解を深めていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	サービスの向上が図れるように参加者からは積極的に率直な意見を出していただけるようにしている。	会議には利用者、家族のほか、自治会長や行政職員等が出席し、事業所の実情の報告や外部評価の目標達成計画について話し合っている。メンバーからは、菜園を作る計画や災害訓練を推進会議の前に実施すること、また、支援が必要な時はいつでも協力し合えることを確認し合うなど連携強化に向けた話し合いがなされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や地域密着型サービス連絡会で事業所の実情を伝え、助言や協力をいただいている。	行政職員と認定申請時や運営推進会議、また相談事があるときに outgoing 意見交換している。また、地域密着型サービス連絡会でも顔を合わせている。毎月利用状況を市に提出するなど日頃から事業所の実情を報告する機会は多く、事業所の理解推進とともに協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束の弊害について学習し、拘束を行わないケアに努めている。言葉による拘束もないように取り組んでいる。	身体拘束廃止については、重要事項説明書への明記や身体拘束廃止に関する指針にて説明しており、身体拘束廃止委員会による勉強会も行っている。言葉による拘束にも十分に配慮がなされ、「待つて」などの行動制限が生じないように職員間で注意し合っている。記録物はなるべく見守りながら行い、リスクマネジメントについても繰り返し家族に伝えているところである。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会を行い高齢者虐待防止についての理解浸透に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現に成年後見制度や福祉サービス支援事業を利用されている方がおられる。勉強会を開催し制度理解に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事前に入居希望者やご家族に見学に来ていただき、パンフレットや重要事項説明書に基づいて分かりやすく説明するようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日頃から意見要望が言いやすい雰囲気づくりを心掛けている。可能な限り意向に沿えるように努めている。	利用者の意見や思いは日頃の様子や会話等から汲み取り、家族からの聞き取りも連絡帳に記録しており、内容は朝礼や職員会議等で確認して職員全員の共有につなげている。事業所の広報紙「さくら便り」を家族に送付し情報発信している。ヒヤリハットも詳細に記録し再発防止に向けた話し合いを繰り返し行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議や申し送り時の他にも、日頃の会話の中で意見を聞く機会を設け、意見が反映できるように努めている。	毎月の職員会議や個別面談で意見の把握に努め、日頃から意見を言いやすい関係にあるため、利用者のケアや業務の改善に向けた話し合いが随時なされている。勤務体制についても職員一人ひとりの希望を聞き対応するなど、意見が反映され、働きやすい環境となっている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	日頃から意見を聴く機会を設け、職場環境の整備改善が図れるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会へ参加できるよう支援を行っている。事業所内でも毎月勉強会を行い職員のスキルアップを図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>2ヶ月に1回開催される地域密着型サービス連絡協議会へ参加して、情報交換や勉強会を行い交流を図るとともにサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>本人の思いを大切にして、本人が望む支援ができるようにしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族より要望を出していただき、事業所としてできる限り要望には添えるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人やご家族が望む生活ができるように、適切なサービス利用の提示もさせていただいている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人ができる範囲で掃除や片づけ等の家事を一緒に行うようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族との情報交換を密にして、共に支えていく関係が築けるようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来られるご家族や友人を歓迎し、ゆっくり過ごしていただけるようお茶やお茶受けをお出ししている。また、かかりつけの病院への受診援助を行っている。	本人がこれまで培ってきた馴染みの関係の把握に努め、その関係が途切れないよう電話や手紙の取り次ぎのほか、行きつけの美容室やお店、選挙の投票に同行するなど、積極的に外出を支援している。また、家族や友人知人らの訪問時には、ゆっくりくつろいでもらえるようお茶やお茶菓子を出すなど配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	朝の体操やレクリエーションで入居者同士が交流できる機会を毎日設け、お互いを気遣うことができる関係が築けるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院で退去されてからも病院訪問を行い、家族とも面会して関係継続に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の関わりの中で、思いを把握できるようにするとともに、個別に要望等を聴くようにしている。	本人の思いや意向を日々の会話や表情・様子等から察し、外出につなげたり、自宅に帰る機会をつくるなどしている。把握した内容から朝礼や日々の会話の中で利用者のことを話題にしたり、連絡ノートを活用して職員全員が情報を共有できるようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ケアマネや病院からの情報以外にも本人やご家族との会話を通じて把握するように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別のファイルに日々の様子を記録し、一人ひとりの心身状態が把握できるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画を作成する際は、本人、家族の要望や主治医、職員の意見を反映できるようにしている。	利用者や家族の思いが記載された連絡ノートを参考にしながら、日々の様子やモニタリング結果を反映させて計画を作成している。また、かかりつけ医の意見も必ず聞き取り介護計画に組み込んでいる。入院など状態に変化がみられた場合には、その都度モニタリングを行い介護計画を適切に見直し、現状に即した内容になるよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別ファイルに日々の様子やケア内容を毎日記録している。ファイルは情報共有の為の基礎資料になっている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族のニーズに合わせて柔軟に対応するようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	これまで生活して来られた繋がりを大切に暮らしを楽しめるように支援していけるように努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	医療機関の決定は本人やご家族の意向に沿うようにしている。受診付き添いをしたり意見を伺ったりして主治医との連携を図っている。	入居前のかかりつけ医を受診できるよう入居後も家族と職員が協力して受診につなげている。受診の際には日々のバイタル表を持参することで情報を提供し、また、受診後の記録は連絡ノートや支援経過に記録し朝礼で報告している。特に内服薬の変更や追加がある場合は、詳細な申し送りをすることで間違いのないよう努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	午前と午後毎日健康チェックを行い、異常の早期発見ができるように努めている。状態変化時には報告相談を行い、医療機関やご家族へ連絡し受診援助を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は、病院へ情報提供を行っている。家族との情報交換も行いながら、回復状態に併せて退院支援に結び付けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に終末期や重度化した場合のあり方についての意向を伺うようにしている。医療行為が常時必要になった場合は対応できない場合もあることをお話ししている。	「重度化した場合における対応に係る指針」により、契約時に説明し同意を得るようにしている。これまでのところ、重度化や終末期に関わる勉強会や研修会への参加は確認できなかったが、今後は医療を必要としない場合は対応していきたいとの思いがあり、本人や家族の思いに寄り添った関わりができるよう研修の機会を設けるなど可能なことから体制の整備を進める意向である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	AEDを設置し、職員は急変事の対応ができるように講習を受けている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に避難訓練を実施している。避難訓練にご家族が立ち会われたり、地域の方に見学をしていただいたことはある。</p>	<p>家族や関係者にも災害訓練に参加して頂くため、運営推進会議時に実施して、主に見守りを担当してもらっている。訓練以外にも地域密着型連絡会議で実施されたAED講習会や寝たきりの方の搬送方法等の勉強会に参加するなど日頃から防災意識を持って臨んでいる。備蓄については、食料は十分に確保されているが、飲料水については検討が行われている状況である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの個性や人格を尊重し、失礼のない言動を心掛けている。	個人情報の保護やプライバシー保護、倫理といった内容を含む「個人情報に関する基本方針」を基に話し合っており、日頃から言葉遣いや馴れ合いな対応にならないよう気を配り接している。また、トイレの声かけをさり気なく行ったり、日中はポータブルトイレにカバーを被せるなどプライバシー確保に適切に配慮がなされている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の思いを尊重し、本人が望む支援ができるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはあるが、体調や好み、本人のペースに合わせて過ごしていただいている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	散髪は職員が要望に応じて定期的に行っている。服装は季節に合ったものを本人に決めていただくようにしている。爪切りも定期的に行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生会やお正月、桃の節句等には行事食を提供するようにしている。下ごしらえ等できる方にははしていただけるようにしている。	併設の特別養護老人ホームの献立を参考に、2ユニット共同で同じメニューの食事を調理している。調理の下ごしらえから台拭き等できることを利用者と職員が共に行っている。また、季節に合わせた行事食の提供、ギョーザ作りや団子作りを楽しむなど食事を大切な生活の一部として取り組む姿勢が感じられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスと減塩に配慮し、個々にあった食事形態と量を提供できるようにしている。水分を摂りたがらない方にはゼリーをお出ししたりして工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを実施している。能力を見極め、できない部分は介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期的な声掛けや本人の訴え、様子観察に基づいてトイレ誘導を行い、トイレで排泄ができるように支援している。	ポータブルトイレを使う方も日中はトイレでの排泄を中心に行ない、パットやリハビリパンツを身体状況に合わせて使う工夫をしている。また、日中の排泄状況は「バイタルチェック表」に記載し、夜間については「夜間トイレチェック表」を用い、個々の排泄パターンに応じたトイレ誘導につなげている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分補給や食事の工夫を行い、排便状況を把握して服薬管理に反映させている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	午後より体調をみながら個々に合った入浴支援を行っている。希望があれば毎日でも入浴できるようにしている。	午後からの入浴が基本で身体状況に応じて足浴やシャワー浴にて対応することもあり、また、ゆず湯など入浴を楽しめる工夫もしている。入浴を拒む方には声のかけ方やタイミングに配慮したり、自宅で入浴していた時間に入浴に誘うなど、一人ひとりの入浴時間に合わせた対応に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いつでも自由に休息できるようになっている。居室は空調や採光にも配慮しナースコールも設置されている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容については個別ファイルに綴りいつでも確認できるようにしている。薬に変更等があった場合は連絡ノートに記載したり、申し送りで周知し観察を行うようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	得意なことや興味のあることができる環境作りに努め、役割が持てたり気分転換が図れるように努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	敷地が広く眺めが良い為、天気の良い日は外気浴や散歩を行っている。又、四季折々の風物や景色が楽しめるドライブへお連れしている。	気分転換を兼ねた散歩やドライブに出掛けたり、ウッドデッキや事業所周辺での外気浴を楽しんでいる。また、花見や紅葉狩り、福飾り祭り等四季の行事に出掛ける機会を設けるなど積極的に外出を支援している。歩行が難しい方には車椅子の利用や、隣接する特別養護老人ホームのリフト車を借りるなどして出掛けており、短時間でも屋外に出る機会をつくり五感刺激が得られるよう配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>預り金として事業所で管理し、希望時いつでも買い物ができるようにしている。希望されてお金を所持されている方もいる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話をかけたり、手紙のやり取りができるように援助を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホールの天井は高くゆったりとした空間が確保されている。季節の作品や花を玄関やホール、テーブルに飾るようにしている。</p>	<p>フロアの天井は高く、ガラス張りの中庭を中心に左右対称的な造りとなっているため、お互いがユニットを見渡せるようになっている。また、フロアや廊下には季節の花や利用者の作った季節毎の作品が掲示されており、外来者の目を楽しませている。採光や室温にも気を配っており、各ユニット毎に空気清浄器を置き、洗面台は夜間等は自動で発光するようになっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールには畳みの間があり、そこに腰をかけたり、横になれるようになっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>持ちこみ家具については特に制限はしていない。生活しやすい空間を作っていたりしている。</p>	<p>テレビや写真、人形、パソコンなど、馴染みの品を自宅から持ち込み、居心地良い環境に配慮している。毎日行っている各居室の掃除は、消毒まで行う徹底ぶりである。エアコンとベッド、クローゼットは備え付けられており、ナースコールも備えて緊急時の安心につなげている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>屋内は全てバリアフリーになっている。必要な個所には手すりを設け安全に自立した生活が送れるようにしてある。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝礼後に理念の唱和を行い、私達が行うべき介護を再確認し、実践につなげている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に加入し、掃除等の行事に参加している。又、近くの保育園児による慰問や、事業所の夏祭りには地域住民の方に来て頂き、交流を図っている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	慰問や夏祭りの行事に参加して頂いたり、2ヶ月に1度発行する事業所の新聞を配布し、認知症についての理解に繋げている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、施設の取り組みや入居状況を報告し、話し合いを行っている。出された意見やアドバイスをサービスの向上に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	運営推進会議・地域密着型サービス連絡協議会を通して、事業所の実情を伝えたり、行事にも参加して頂き、協力関係を築く様に取り組んでいる。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束について学ぶ機会を持ち、拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会で高齢者虐待防止について学び、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	制度について学ぶ機会を持ち、それらが活用できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前に利用者・ご家族に説明を行い、疑問に思った事は質問して頂き、理解・納得して頂けるように努めている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者・家族等に意見を言いやすい関係・環境作りを心掛けている。出された意見には出来るだけ沿えるように努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>朝礼や毎月の職員会議で意見を聞き取ると共に、日頃から意見を聞く機会を作り、改善に努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の意見要望を聞き、個々が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修会の案内がある時は職員へ知らせ、参加出来る環境を整えている。施設内では毎月の勉強会を通して、学ぶ場を設けている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域密着型サービス連絡協議会へ参加し、意見・情報交換や勉強会を通して同業者と交流を図り、サービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の思い・要望を理解し、安心を確保する為の関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の不安・要望等に耳を傾け、安心して頂ける関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人とご家族が必要としている支援を見極め、適切なサービスが受けられるよう対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家庭的な環境の中で出来ることはして頂いている。人生の先輩として、いろいろ学びながら、共に過ごし支え合う関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にし、共に支えていく関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会があった時はゆっくり話しが出来るように配慮している。 又、かかりつけの病院は、なるべく変更せず関係が途切れないよう支援に努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の関係を把握し、朝の体操やレクリエーションを通して一人ひとりが関わりを持ち、孤立せず生活できるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院で退去された方のお見舞いに行き様子を伺っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の関わりの中で一人ひとりの思いや生活の希望を把握するよう努めている。又、得られた情報は職員間で共有し、サービスに反映している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人・家族・病院等から聞き取りを行っている。又、情報提供書も活用し、暮らしの把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの状態が把握できるように、個別の介護記録に毎日記入している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や職員・主治医・職員からの意見を反映した介護計画を作成している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別ファイルに一日の健康状態・過ごし方等を記録し、職員間で情報が共有できるようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族の状況、要望に柔軟に対応できるようも努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>これまで生活してきた繋がりを大切にし、暮らしを楽しむことが出来るように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人・家族の希望に沿った、かかりつけ医で医療を受けられるよう支援している。又、家族の受診付き添いや送迎が困難な場合は事業所が援助を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日のバイタル測定や健康状態を把握し、状態異常時には医療機関やご家族へ報告・連絡を行い、適切な対応が出来るように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院へ情報提供を行っている。定期的に面会にも行き病院関係者との情報交換も合わせて状態の把握に努めている。家族・病院と連絡を取り退院に向けての支援を行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約前に重度化や終末期についての意向をお聞きしている。重度化し、事業所内での対応が困難になった場合は医療機関への入院をお願いしている。又、契約時には説明し、納得した上で署名・入所して頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	救命講習の研修に参加したり、勉強会を定期的に行っている。施設内にAEDを設置しており、急変時には対応できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、避難訓練を実施している。地域の方にも参加して頂き、緊急時に協力が得られるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重しプライドを傷つけないよう接している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人が思いや要望を表出しやすい雰囲気や関係作りに努め、自己決定ができるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の流れはあるが、本人の体調や思いに沿って自由に生活して頂けるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	身に着ける物は特に制限を行わず、着替えをする際に本人に選んで頂いている。希望があれば事業所の職員が散髪を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりの好みの把握や食べやすい形態で提供し、安心と楽しさを感じて頂けるように努めている。又、行事や季節に沿った食事を提供している。食後には台を拭き出来る範囲で協力して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランス・減塩に配慮し、一人ひとりにあった食事形態・量を提供している。水分はお茶・食事以外の時間も個々の状態に合わせて補給できるようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアの声掛けを行い、出来ない方には一部介助を行っている。夜間は入れ歯の洗浄を行い清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人ひとりの状態や排泄表を参考に声掛けを行い失敗を減らすことで自立支援に繋げている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄表に目を通し職員間で連携を取りながら排泄状況を把握し、服薬管理・水分補給・運動・食事の工夫を行い便秘の予防に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	午後、一人ひとりの状態や意向に沿って対応している。希望があれば毎日でも入浴できるようにしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	生活習慣を把握し、自由に休息が出来るように支援している。又、安眠が得られるように室温や照明にも配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容は個別ファイルに綴り、いつでも確認できるようにしている。薬の変更等は連絡ノートや申し送りを通じて職員に伝わるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活暦を参考にしたり日常の会話の中から得意なことや興味のあることをして頂き、役割や楽しみに繋がるような支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候の良い日は外気浴や散歩を行っている。又、希望があれば行事ごとに施設で対応し本人が楽しめるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>預かり金として施設で管理しており、希望があればいつでも買い物ができるようにしている。又、所持することを希望される方は所持している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば電話をかけたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天井が高く、ゆったりとした空間が確保されている。所々に花や本人達が作成した作品・写真などを掲示し、居心地良く季節感を感じられるようにしている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>本人の希望に沿いホールの席は決めて頂いている。それぞれの席でテレビや新聞等を観て過ごされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>自宅で使われていた物などを本人の希望があれば使用して頂いている。居心地良く過ごせるよう配慮している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内は全てバリアフリーになっており、浴室やトイレには手すりや取っ手を取り付けられ、安全で自立した生活が送れるように工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない